

日本科学協会の概要

科学研究を奨励し、科学教育と一般文化の発展に寄与することにより、世界平和に貢献することを目的に1924年に設立された財団法人で、若手研究者の研究支援や青少年の科学体験などの各種事業とともに、1999年から国際協力事業として「対中国プロジェクト」を推進しています。

日本科学協会の主要事業

1. 笹川科学研究助成
2. 海外発表助成
3. 笹川科学研究奨励賞
4. 科学隣接領域研究事業
5. サイエンスメンター事業
6. 地球科学の理解促進
～ Cubic Earth～もしも地球が立方体だったら～
7. 生命科学テキスト制作
8. 日中未来共創プロジェクト

日中未来共創プロジェクトの概要

中国においては、図書寄贈、「日本知識大会」、3つの「作文コンクール」、日本においては、「Panda 杯作文コンクール」の各事業を連携実施することにより、国際人材の育成を図り、日中の未来を共創できる環境整備に寄与します。

◆図書寄贈

出版社、図書館、企業、大学・研究機関、一般の方々など各方面から提供された図書を、分別・整備のうえ海外の大学・研究機関等に寄贈し、教育・研究への活用を図るというもので、当面は中国の69大学等に寄贈対象を絞って事業を実施しています。

◆「中国大学図書館担当者招聘」

多角的な「日本」理解と日中学术交流の促進を図るため、寄贈対象大学の図書館担当者等を対象に2001年に立上げた招聘研修で、図書館や歴史・文化施設の視察、図書関係者等の情報交換など、様々なプログラムを実施しています。これまでに6度の「招聘」を実施し、合計128名の担当者を招聘しました。



◆「本を味わい日本を知る」作文コンクール

日本に対する関心や理解を深めるため、中国全土の大学生等を対象に開催している「日本に関する図書の感想文」コンクールで、使用言語を中国語とすることにより日本語学習の有無に関わらず広範な大学生の参加を図っています。作文の募集・応募については、全国の大学図書館経由で実施しています。主な目的は、日本に対する関心の喚起、理解の促進、国際人材の育成で、2017年度までの応募累計は約3,029点です。

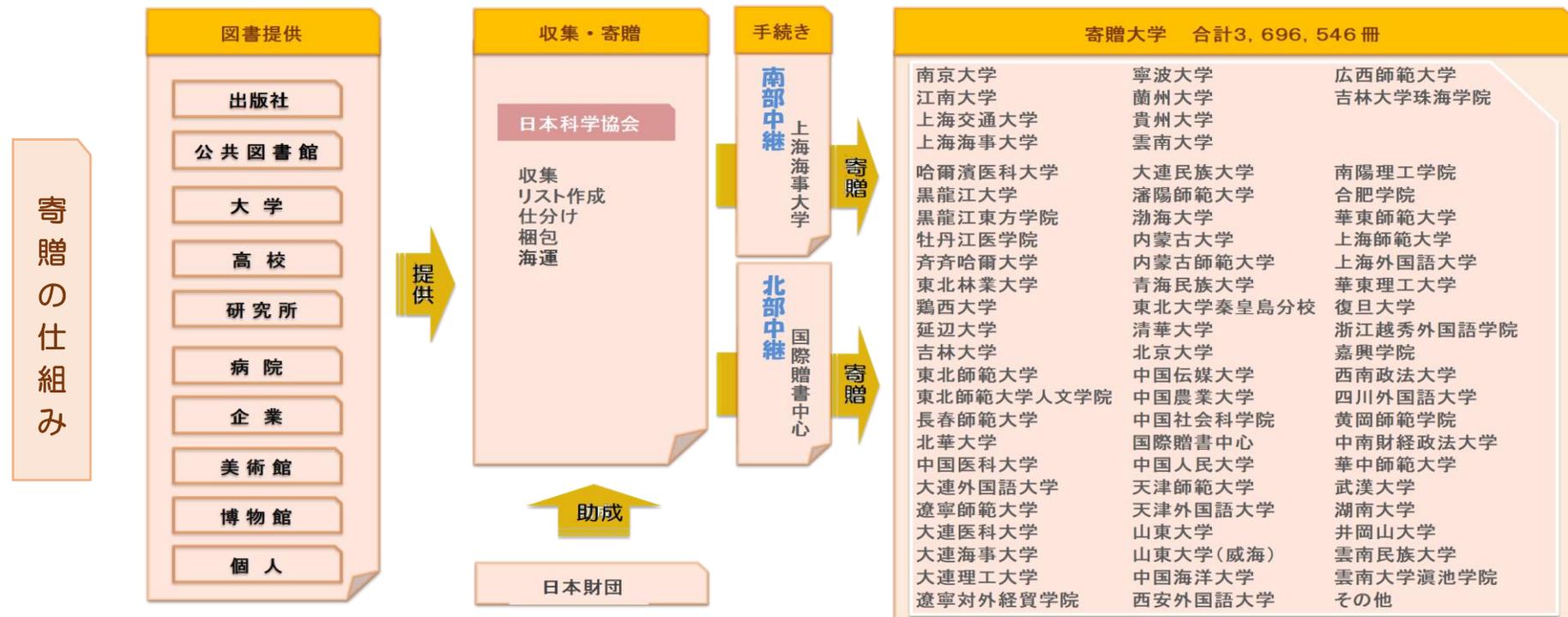
お手持ちの図書をご提供ください!!

◀送付先等の問合せ先▶

TEL:03-6229-5364 FAX:03-6229-5369
e-mail:bp@jss.or.jp

公益財団法人
日本科学協会

2018.3



◆「笹川杯全国大学日本知識大会」



「日本」理解の深化と日本語学習意欲の高揚を図るため、2004年に中国で上げた日本に関する知識・情報を競う大会で、日本語を学ぶ中国の大学生を対象として毎年開催しています。

2011年度以降、大会を全国規模に拡大して開催しています。2016年度までに571大学、1,713名の選手が参加しました。

日本知識大会のあゆみ

年	開催大学	参加校	優勝大学
2004年	黒龍江大学	8大学	黒龍江大学
2005年	黒龍江大学	10大学	ハルビン医科大学
	南京大学	9大学	南京大学
2006年	黒龍江大学	7大学	黒龍江大学
	寧波大学	10大学	寧波大学
2007年	佳木斯大学	8大学	佳木斯大学
	浙江工商大学	12大学	南京大学
	長春師範大学	8大学	長春師範学院
2008年	鑑真学院	17大学	渤海大学
	大連外国語学院	16大学等	南京大学
2009年	蘇州大学	19大学	黒龍江大学
	黒龍江大学	10大学	南京大学
2011年 (2010年度 の延期)	吉林大学	28大学	東北財経大学
	東華大学	21大学	山東大学
	貴州大学	10大学	貴州大学
2011年	南京大学	29大学	蘇州大学
2013年	中国人民大学	60大学	東華大学
2014年	北京大学	89大学	洛陽外国語学院
2015年	吉林大学	94大学	武漢大学
2016年	武漢大学	106大学	武漢大学
2017年	上海交通大学	117大学	

合計 688大学

◆「Panda 杯全日本青年作文コンクール」

日本の若者の中国への関心・理解を図るため、「中国」をテーマとした「作文コンクール」を人民中国雑誌社、中国大使館とともに2014年より立ち上げました。優秀賞、入賞を受賞した方は、7日間の中国研修旅行に参加します。2017年度までの応募作品は1,438点で中国招聘者数は73名です。



パンダ杯作文コンクールのあゆみ

年	言語	応募点数	審査結果	訪中数
2014年	日本語	224点	優秀賞10点、佳作20点	12名
2015年	日本語	354点	優秀・入賞15点、佳作30点	20名
2016年	日本語	362点	優秀・入賞15点、佳作39点	21名
2017年	日本語	498点	優秀・入賞15点、佳作40点	20名

合計 1,438点

◆「笹川杯作文コンクール ―感知日本」

中国の若者の日本への関心・理解を深めるため、2008年度より“感知日本”をテーマに、中国の広範な青年層を対象として、中国語と日本語で応募する「作文コンクール」を“中国青年報”及び“人民中国雑誌社”との共催により実施しています。

2016年度までの応募作品は47,087点です。

笹川杯作文コンクールのあゆみ

年	応募形式	応募点数	審査結果	媒体
2008年	中国語版	6,278点	一等賞6点他入賞36点	中国青年報
	日本語版	271点	優勝2点他入賞12点	人民中国
2009年	中国語版	7,208点	一等賞6点他入賞36点	中国青年報
	日本語版	1,698点	優勝2点他入賞12点	人民中国
2010年	中国語版	5,877点	一等賞6点他入賞36点	中国青年報
	日本語版	1,455点	優勝2点他入賞12点	人民中国
2011年	中国語版	8,410点	一等賞6点他入賞36点	中国青年報
	日本語版	1,907点	優勝2点他入賞12点	人民中国
2012年	中国語版	5,305点	一等賞6点他入賞36点	中国青年報
	日本語版	778点	優勝2点他入賞12点	人民中国
2013年	中国語版	-	※開催見送り	-
	日本語版	1,727点	優勝2点他入賞16点	人民中国
2014年	中国語版	-	※開催見送り	中国青年報
	日本語版	1,879点	優勝2点他入賞16点	人民中国
2015年	中国語版	-	※開催見送り	中国青年報
	日本語版	1,416点	優勝2点他入賞16点	人民中国
2016年	中国語版	-	※開催見送り	中国青年報
	日本語版	1,611点	優勝4点他入賞16点	人民中国
2017年	中国語版	-		
	日本語版	1,267点	優勝4点他入賞16点	人民中国

合計 47,087点

◆「日本知識大会・作文コンクール」優勝者等招聘

実体験や人的交流による多角的な「日本」理解と友好交流の促進を図るため、「知識大会」と「作文コンクール」の優勝者等を対象に毎年実施しており、日本各地の訪問見学、



ホームステイ、日本の大学生との意見交換や自由交流など、これまで様々なプログラムを提供してきました。

2016年度までの招聘者数は、合計302名です。

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

日中未来共創プロジェクト



1冊から始まる国際交流...

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5階